

のびのび通信第 89 号

平成 26 年前期

今年、発達障害児支援サークル「のびのび」は、発足 10 周年を迎えます。この 10 年の間に、いろんなことがありましたが、子ども達は、身体面はもちろん、精神面や社会性も大きく成長しています。そして、この活動を多くの方々を支えられていることを感じます。

今年の活動は、島根県共同募金委員会の助成金で運営しています。その他、全国の様々な方々からもご寄附という形でご支援いただいています。

平成 26 年度前期のできごと



4 月 13 日

益田市美都地域に、香る春の味覚。せっかくの地元なんですから、体験しない手はありませんね。いちご狩りです。でも、いちご狩りにもルールがあります。視覚的構造化で、しっかりマスターして参加しました。



6 月 8 日

プリザーブドフラワーの先生にお願いして 3 年めになりました。細かい作業がありますが、回を重ねるごとに上達しています。今年作品あたりから、そろそろ販売できるかも・・・。



8 月 10 日

夏季恒例になっています。発達障害児支援サークル「のびのび」主催のセミナーです。今年は、台風の影響もあって、当日キャンセルが続出でした。それでも、50 人を超える方々と一緒に学びました。

他の団体との連携

●6 月 24 日 共同募金委員会からの助成金伝達式があり、他の団体の方と一緒に、助成金交付決定通知の授与を受けました。

●7 月 30 日 島根県西部発達障害者支援センター・ウィンドのブロック会議に出席し、活動の PR と来月予定のセミナーについて情報提供しました。

平成 26 年度後半の予定

後半は、メンバーや交流会員・ボランティアの皆さんと工作などを通じた次の活動を予定しています。

11 月 缶バッチづくり（今年は、マグネットもできるよ）/12 月 しめ縄づくり/1 月 ひな人形（リース）づくり/2 月 和菓子づくり

今年のセミナーは、川崎医療短期大学講師の重松孝治先生をお招きし、「自閉症スペクトラムの理解と支援」について、原点に戻って考えるきっかけとなるようご講義をいただきました。「原点に戻る」は、「のびのび」が 10 周年として、こだわったキーワードです。セミナーの概要は、別途実施報告書にまとめ、ホームページに掲載していますので、ご覧いただければと思います。



セミナーの様子

発達障害児支援サークル「のびのび」